

ゆめ通信

第52回梓乃森祭「ゆめひろば」

★ ◎いただきます!!
新たな挑戦「古代米」が
ドーナツに!!



★ お休み処
地域のつながりが
広がった
コミュニティ!!

2~3 第52回梓乃森祭報告

4~5 大学間地域連携活動研修会を行いました

6 ええじゃん栄村

7 地域連携事業活動紹介

サンタ・プロジェクト・まつもと2018
おみ光のページェント

8 学生プロジェクト活動紹介

Sign
考房『ゆめ』みんなの掲示板

考房『ゆめ』は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房『ゆめ』キャラクター こう坊





10月13日(土)～14日(日)に、第52回梓乃森祭が行われました。
考房「ゆめ」では5号館ロビーと511教室で発表と展示に取り組みました。
普段からお世話になっている地域や団体、企業と協力して行ったイベントは大盛況。
5号館ロビーのお休み処コーナーは拡大しても席が埋まるほどでした。



すすき川花火大会 写真・絵画コンテスト

8月に松本市内で行われた「すすき川花火大会」の写真や絵画を公募したコンテストの入賞作品が飾られました。



みすず屋

大学の近くにあっても、気づかなかった「みすず屋」を紹介!!
昔懐かしい雑貨屋の雰囲気が残るお店は、学生も地域の人も立ち寄りやすい居心地のよい場所であると伝わるコーナーでした。



新村地区の 女性グループ マーブルの会

心のこもった漬物とお茶をサービスしていただきました。1日目に大好評で商品がすべて完売!!来年は2日目も販売いただけたら嬉しいです。

◎いただきます!!

くれき野やさいクラブの古代米で新商品開発ついにドーナツ販売!!
もっちりした食感で甘みを抑えたドーナツはあっという間に完売でした。



上高地線 応援隊

子どもの楽しみ場、プラレールは遊びながら公共交通を学べる一石二鳥の場でもありました。



波田不用食器 回収委員会

食器が再生される仕組みについて掲示いただき、活動の内容について皆さんにご覧いただきました。



松本市環境政策課

「学ぼう・減らそう・食品ロス」の説明ボードはとて解りやすく目を引く掲示でした。

第9回松本大学 地域貢献大賞選考会

「ゆめ」編集が「地域と大学を繋ぐ「Volere!!」」をテーマに発表。地域の情報を大学へ、大学の情報を地域へというコンセプトで活動中。ものぐさ太郎賞を受賞しました。



松本市青少年ホーム

松本市に居住、通勤、通学する15歳以上35歳未満の方を対象に仲間作り、職業的スキルアップを行う施設の事業内容について詳しく展示いただきました。

第2コムハウス

心のこもった手作りのスイーツを販売いただきました。



学生プロジェクト 活動紹介

学生プロジェクト10組の活動をそれぞれまとめて展示しました。また、来場者向けにアンケートを実施するプロジェクトもありました。



大学間地域連携活動研修会を 開催しました!!!

参加校

共愛学園前橋国際大学(群馬県) / 田園調布学園大学(神奈川県) /
長野大学 / 松本大学・松本大学松商短期大学部

8月31日(金)～9月1日(土)に「大学間地域連携活動研修会(通称・夏合宿)」が開催されました。県内外から4大学96名が参加し、日頃取り組んでいる活動の報告や意見交換等を通じて、交流・親睦を深めました。



タイムスケジュール

8月31日
はじめの会
活動報告会
昼食 兼 グループディスカッション
夕べのつどい
交流会
9月1日
朝のつどい
グループワーク
おわりの会



活動報告会では、活動団体ごとにパネルを用意し、発表を行いました。



松本大学の体育館を利用し、発表団体数を区切って交替しながら発表してもらうことで、より多くの団体の発表を聞けるよう工夫されています。



参加者の手元には活動報告集が配布され、パネルでの発表と合わせて確認してもらいました。



発表者と積極的に行き取りする場面も見られました。



発表後には、「いいね!」と思った活動へ投票してもらい、上位3団体へは景品が贈られました。



活動報告会后、活動団体ごとに昼食を取りながら各自が聞いた発表の報告や他の団体の活動で参考になったことを話し合ってもらいました。



午後からは国立信州高遠青少年自然の家へ場所を移し、交流会を行いました。



交流会では、群馬の「みな coming 体操」から始まり、イントロクイズやすごろくを通じて親睦を深めました。



翌日は、各大学の学生が入り混じり、グループディスカッションを行いました。



時には真剣に、時には笑いながら、テーマごとに席替えをして話し合いが進みました。



宿泊した参加者全員で集合写真!

運営スタッフが 7月から準備

今回の夏合宿は3大学の代表学生13名が中心となって企画・運営を行いました。当日まで顔を合わせる機会がない中、テレビ通話などを使って打合せを重ねました。



参加者の感想

- 他校の学生や、普段あまり話さない後輩との交流を深めることができた。
- 合宿だけでなく、お互いの心の距離を縮めていくことで話したいことを話す、ということができた。
- グループディスカッションでお互いの悩みを聞けるのはとても役に立った。
- ポスターセッションでは、それぞれアピールポイントだったり、活動や今後の目標について考え理解し合えることがとても良かったです。
- 他の大学の学生と、どのような活動をしているか、何を大切にしているか、などの話をじっくりとすることができ、改めて自分は何のために活動していくのか、今後の課題は何かを考える機会となりました。
- 似ているプロジェクトでも、大学のある地域や組織の仕組みなどで様々な特徴が表れてくると感じた。
- 去年に比べると話し合ったり発表する時間が多かったが、逆に充実できた。
- 自分の所属する活動がどんなものか多くの人に知られて良かったです。
- みな coming 体操楽しかったです。
- みんな活動に積極的な人で、話し合いもしていて白熱してとてもわくわくした。来年もまた来たい。

秋の「栄村」の 魅力を探しに



被災した栄村を応援したいと2012年に松本大学生が立ち上がった「ええじゃん栄村」プロジェクト。震災で失ったものがたくさんあった栄村で、住民が一致団結して集落維持活動をしている栄村の実態、自然や人の温かさの魅力を探しに、今回は13名の学生が栄村を訪問しました。



栄村へ訪問のための予備知識の勉強会を行いました。



地域の人から栄村について自慢できることを聞いてみました。



散策して感動!!
燃える紅葉が素晴らしかったです。



18世紀中期に造られた住宅に居住する阿部マズミさんに日常生活の暮らしぶりをお聞きすることができました。



神社の赤い鳥居がとても神秘的で心が浄化されます。「学問の神様」としても知られる平安時代の学者菅原道真を祭った「北野天満宮」は、合格祈願の神社として人気があります。



訪問後の振り返りのなかで、栄村の魅力、写真におさめた理由をメンバーで発表しあい、今後の活動について話し合いを行いました。

今後の取り組み
再び栄村を訪れたいという想いから、二〇一九年一月十一日(土)、十三日(日)に小滝地区住民の皆さんと交流をすることになりました。地震で大きな被害を受けましたが、十三戸の小滝住民の皆さんが三百年守られた地域の建て直しを行いました。あらゆる資源を活用して、真の豊かさを求めて地域を大事に生活しています。一月の訪問では、復興後の取り組みの様子や、雪国での生活、また雪の魅力を知りたいと思います。その中で、学生が何を感じ何をしたら良いかを考える場になればよいと考えています。



深坂峠にて

栄村を訪問して
今まで、栄村の観光名所をまわるということではなかったのですが、いろいろな場所を見ることができて良かったです。その中で、村の人の温かさや、栄村の四季を感じる事ができ、改めて栄村は魅力的なところだと思いました。
総合経営学部
総合経営学科二年 二木麻友



サンタ・プロジェクト・まつもと 2018

おおぜいの皆さんにサンタクロースになっていただきました。

贈り先：信州大学医学部附属病院小児科、長野県立こども病院、城西病院小児科病棟、長野県松本あさひ学園(情緒障害児治療施設)、長野県信濃学園(知的障害児入所施設)、松本赤十字乳児院、松本児童園(児童養護施設)

入院していたり、施設で暮らしていたりと自宅でクリスマスをお過ごすことのできない子ども達に本を贈る「サンタ・プロジェクトまつもと」が開催されました。

今年は、松本大学の生協が協力書店に加わりました。さらに、サンタ・プロジェクトのスタッフメンバーに松本大学生5名が参加してチラシや認定書づくりを行いました。

協力書店には、本を待つ子どもの年齢や性別、どんな本が欲しいかというリクエスト、子どもがいる病院や施設名が書かれたカードが配布されます。来店された方にはカードを1枚選んでもらい、リクエストに沿った絵本や児童書などを購入していただきます。又、本と一緒に届けられるメッセージカードを作っていただきます。それぞれのカードには温かい言葉が添えられています。

購入していただいた本とメッセージカードは、スタッフがクリスマスの時期に合わせて子ども達に贈呈します。

おかげさまで松本大学生協をはじめ協力書店では、多数の皆さんにご協力をいただきました。有難うございました。



学生スタッフのポスター作り



サンタクロースに渡しお礼認定書作り

私はサンタ・プロジェクトに参加して二年目になります。この活動に関わる中で感じることは人の温かさです。プロジェクトを運営している方、書店で本を買いサンタさんになってくれる方などたくさんの方々が携わってくださいます。その関わりを通して、子ども達が幸せな気持ちになってほしいと思っています。そのような温かい気持ちが溢れる活動になっています。
この活動が、子ども達にとってよい思い出になるように、これからも取り組んでいきたいと思えます。

人間健康学部健康栄養学科三年 塩入瑛美

おみ光の ページェント

会場内のデザインと装飾を4名の大学生が担当。どのような出迎えが待っているか、ぜひ会場へお出かけください。また、期間中はフォトコンテストや星空観賞会の開催も予定しています。詳しくはQRコードから▶



点灯式 2018年12月1日(土)16:30~(終了)
点灯期間 2018年12月1日(土)から2019年2月28日(木)まで
会場 シェーンガルテンおみ(長野県東筑摩郡麻績村日3434)
企画 麻績村観光協会(長野県東筑摩郡麻績村麻5889-1)
TEL 0263-67-2133

Sign 手話学習会に参加して

Signは6、7月に聴覚障害をもつ方にお越しいただき挨拶、名前、住所など自己紹介に必要な手話を教えてもらいました。相手に正確に伝えなければならぬし、多くの指文字を合わせて会話をするのは結構大変で覚えるのに必死でした。しかし、伝わって褒められたときは嬉しかったです。実際、手話を使って生活している方と話す機会が無いのでこうした活動をもっと増やしていくことができたら良いなと思いました。そして、困っている聴覚障害の方がいたらお手伝いをしたいです。

松商短期大学部経営情報学科1年 湯本未空



Information 考房『ゆめ』 みんなの 掲示板

松本大学と地域をつなぐ イベント情報誌

地域の仲間のイベント

CoderDojo 松本 @松本大学

CoderDojoは、子どもが自発的にプログラミングへ親しむことのできるクラブです。地域のエンジニアをはじめとする協力者によって各地で運営されています。

松本市では、CoderDojo 松本@松本大学の名称で、大学内のパソコン室で開催しています。大学生もメンター（指導者）として参加、地域のエンジニアと共に3世代の技術交流が行われます。



日 程 ● 毎月第1土曜日 14:00 ~ 16:00
※変更される場合もあります。
詳細日程はお問い合わせください。

参加費 ● 無料

対 象 ● 小学1年生~高校3年生

場 所 ● 松本大学内 パソコン室

申 込 ● 下記ページよりお申込みください。

<https://pro.form-mailer.jp/lp/2a6ae9f9153606>

問合先 ● 松本大学 地域づくり考房『ゆめ』



HPIは
こちらから▲

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1
松本大学 7号館 2F

T E L : 0263-48-7213 (直通)

F A X : 0263-48-7216 (直通)

E-mail : community@matsu.ac.jp

U R L : <https://yume.matsumoto-u.ac.jp/>

※開館日時：月~金 9:00 ~ 18:00